

奥武蔵の古刹を巡る 子ノ権現～竹寺

実施日 2020年3月15日(日)
 天候 晴れ
 リーダー 渋谷 京子
 参加者 服部美千代、島本陳重、山崎富美恵、白石恵美子、小村井好江、渋谷賢寿、渋谷京子、遠井謙策、中村友子、伊藤久雄、徳山敬子、小名秀鋭、瀧澤きよの、白石佐恵、宮崎敏男、阿部一郎、阿部みゆき
 計17名
 費用 西武池袋線1,080円(池袋起算)
 600円 計1,680円
 タイム 吾野駅(9:45)東郷公園(10:10~10:15)浅見茶屋(10:45~10:50)子の権現(11:40)昼食(11:50~12:20)豆口峠(13:00~13:05)竹寺(13:30~13:50)休憩(14:35~14:40)仁田山峠(15:00)鍛冶屋橋BS(15:20~15:33)飯能駅

前日に関東甲信地方は寒気に覆われ、みぞれと雪が降り続いた。そして当日は快晴無風ではあるが昨日と同じかなりの冷え込みとなった。

総勢17名は元気いっぱい吾野駅を後にした。西武秩父線に沿って細い道を進むと東郷神社、左折すると舗装路は満開の梅林でかぐわしい香りに包まれる。

沢のせせらぎも心地よく五感を研ぎ澄ませる。高度を上げて行くと左に浅見茶屋、小休止とする。

この先から山道となり石段を登って行く。樹木の頭に積もった雪がいたずらして氷となり我々の頭上に落ちてくる。

足元の悪い道を暫く進むと樹林帯の所々に雪が積もっていた。関東ふれあいの道と云う事で歩き易い道である。

汗をたっぷりかく頃、子の権現天竜寺に到着。足腰の神様として信仰を集め多くの参拝者が訪れる古刹である。日本一という大わらじが納められた境内からは奥武蔵の山々が望ま



れる。

大わらじの前で写真を撮り竹寺方面に下った所で昼食タイム。開けた目の前に白とピンクの梅の木が大競演、陽だまりの中とても優雅な至福のひと時となった。

子の権現を後に進むと、右に伊豆が岳へ続く天目指峠方面を分け左の豆口峠へ向かう。

台風の影響で大木が横たわり斜面を巻いて通過する。暫く下ると別の世界が広がった。

竹寺の正式名称は『医王院薬寿院八王子』境内に生える竹林の見事さから竹寺と呼ばれているそうだ。こちらの梅林も咲き誇り見る人を魅了する。名物の茅の輪の階段でハイチーズ！広い境内を進むとご住職がお茶を振る舞って下さって、ひえた身体に感謝感激です。

境内を彩る春の花、桜を始めミツバツツジ、ハナミズキ、カタクリなど正に花寺と云われる所以である。



さてここから小殿バス停に下る事も出来るが健脚揃いのメンバーは仁田山峠コースに向けて出発。小殿方面に進み左の尾根道を行

くと道が不明瞭になってきた。

行きつ戻りつヤママップで確認して、木の白テープに消えそうな字を見つけ落ち葉で覆われた細道を行くと地図にある送電線鉄塔に行き着いた。ヤママップは有り難い！

鉄塔の下の道は歩きやすく空が開けているので気持ちよく下っていくと右に仁田山峠へ。さらにグングン下っていくと眼下に舗道が見えてきた。バス停まで30分とあるがバス時間を伝えると皆さんほぼ競歩となり20分で鍛冶屋橋バス停に到着した。

世の中大変な状況の中、本日は沢山のメンバーに参加して頂き有難うございました。

奥武蔵の山歩き！梅、雪、チョイ迷い？桜はお預け！楽しんで貰えましたでしょうか。

こんな時は、こんな時こそトレッキングを！桜の季節を皆さんで楽しみましょう(*^*)v

(記&写真提供・渋谷 京子)